⑶　E_{SL}は、次の式により算出するものとする。

$$E_{SL}=\sum_{i}^{n}\left(\alpha_{SL,i}\times A_i\right)$$

この式において、$\alpha_{SL,i}$、A_i及びｎは、それぞれ次の数値を表すものとする。

$\alpha_{SL,i}$：室ｉの室用途ごとに別表第３に掲げる照明設備に係る係数（単位　１平方メートル１年につきメガジュール）

A_i　：室ｉの床面積の合計（単位　平方メートル）

ｎ　：当該非住宅建築物における照明対象室の数

⑷　E_{SW}は、次の式により算出するものとする。

$$E_{SW}=\sum_{i}^{n}\left(\alpha_{SW,i}\times A_i\right)$$

この式において、$\alpha_{SW,i}$、A_i及びｎは、それぞれ次の数値を表すものとする。

$\alpha_{SW,i}$：室ｉの室用途及び地域区分ごとに別表第３に掲げる給湯設備に係る係数（単位　１平方メートル１年につきメガジュール）

A_i　：室ｉの床面積の合計（単位　平方メートル）

ｎ　：当該非住宅建築物における給湯対象室の数

⑸　E_{SEV}は、次の式により算出するものとする。

$$E_{SEV}=\sum_{i}^{n}\left(\frac{L_{SEV,i}\times V_{SEV,i}\times C_{SEV}\times T_{SEV,i}\times M_{SEV,i}}{860}\times N_{SEV,i}\right)\times 9760\times 10^{-3}$$

この式において、$L_{SEV,i}$、$V_{SEV,i}$、C_{SEV}、$T_{SEV,i}$、$M_{SEV,i}$、$N_{SEV,i}$及びｎは、それぞれ次の数値を表すものとする。

$L_{SEV,i}$：昇降機系統ｉの積載質量（単位　キログラム）

$V_{SEV,i}$：昇降機系統ｉの定格速度（単位　１分につきメートル）

C_{SEV}　：基準設定速度制御係数（１／40）

$T_{SEV,i}$：昇降機系統ｉの年間運転時間（単位　時間）

$M_{SEV,i}$：昇降機系統ｉの輸送能力係数（単位　無次元）

$N_{SEV,i}$：昇降機系統ｉに属する昇降機の台数（単位　台）

ｎ　：当該非住宅建築物における昇降機の対象系統数

⑹　E_Mは、次の式により算出するものとする。

$$E_M=\sum_{i}^{n}\left(\alpha_{SM,i}\times A_i\right)$$

この式において、$\alpha_{SM,i}$、A_i及びｎは、それぞれ次の数値を表すものとする。

$\alpha_{SM,i}$：室ｉの室用途ごとに別表第３に掲げるその他設備等に係る係数（単位　１平方メートル１年につきメガジュール）

A_i　：室ｉの床面積の合計（単位　平方メートル）

ｎ　：当該非住宅建築物における対象となる室の数

２－３　設計一次エネルギー消費量の算定方法

非住宅建築物の設計一次エネルギー消費量E_T（単位　１年につきギガジュール）は、次の式により算出するものとする。

$$E_T=(E_{AC}+E_V+E_L+E_W+E_{EV}-E_S+E_M)\times 10^{-3}$$

この式において、E_{AC}、E_V、E_L、E_W、E_{EV}、E_S及びE_Mは、それぞれ次の数値を表すものとする。

E_{AC}　：空気調和設備の設計一次エネルギー消費量（単位　１年につきメガジュール）

E_V　：空気調和設備以外の機械換気設備の設計一次エネルギー消費量（単位　１年につきメガジュール）

E_L　：照明設備の設計一次エネルギー消費量（単位　１年につきメガジュール）

E_W　：給湯設備の設計一次エネルギー消費量（単位　１年につきメガジュール）

E_{EV}　：昇降機の設計一次エネルギー消費量（単位　１年につきメガジュール）

E_S　：エネルギーの効率的利用を図ることのできる設備又は器具（以下「エネルギー利用効率化設備」という。）による設計一次エネルギー消費量の削減量（単位　１年につきメガジュール）

E_M　：２－２に定めるその他一次エネルギー消費量（単位　１年につきメガジュール）

⑴　E_{AC}は、次のイからホまでに定める方法によるものとする。

イ　E_{AC}は、以下の式により算出するものとする。

$$E_{AC}=\sum_{i}^{n_{AHU}}\sum_{d}^{D_{AHU,i}}E_{AC,AHU,d,i}+\sum_{i}^{n_{PUMP}}\sum_{d}^{D_{PUMP,i}}E_{AC,PUMP,d,i}+\sum_{i}^{n_{REF}}\sum_{d}^{D_{REF,i}}E_{AC,REF,d,i}$$

この式において、$E_{AC,AHU,d,i}$、$D_{AHU,i}$、n_{AHU}、$E_{AC,PUMP,d,i}$、$D_{PUMP,i}$、n_{PUMP}、$E_{AC,REF,d,i}$、$D_{REF,i}$及びn_{REF}はそれぞれ次の数値を表すものとする。

$E_{AC,AHU,d,i}$：日付ｄにおける空気調和機等ｉの１日当たりの設計一次エネルギー消費量（単位　１日につきメガジュール）

$D_{AHU,i}$　：空気調和機等ｉの年間稼働日数（単位　日）

n_{AHU}　：当該空気調和設備内の空気調和機等の数（単位　台）

$E_{AC,PUMP,d,i}$：日付ｄにおけるポンプ等ｉの１日当たりの設計一次エネルギー消費量（単位　１日につきメガジュール）

$D_{PUMP,i}$　：ポンプ等ｉの年間稼働日数（単位　日）

n_{PUMP}　：当該空気調和設備内のポンプ等の数（単位　台）

$E_{AC,REF,d,i}$：日付ｄにおける熱源機器等ｉの１日当たりの設計一次エネルギー消費量（単位　１日につきメガジュール）

$D_{REF,i}$　：熱源機器等ｉの年間稼働日数（単位　日）

n_{REF}　：当該空気調和設備内の熱源機器等の数（単位　台）

ロ　$E_{AC,AHU,d,i}$及び$E_{AC,PUMP,d,i}$については、各機器が処理する暖冷房負荷を算出し、この負荷の大きさに応じて機器のエネルギー消費特性が変化することを考慮したうえで、エネルギー消費量を求めるものとする。

ハ　$E_{AC,REF,d,i}$については、各機器が処理する暖冷房負荷を算出し、この負荷の大きさ及び気象条件に応じて機器の能力及びエネルギー消費特性が変化することを考慮したうえで、エネルギー消費量を求めるものとする。

ニ　暖冷房負荷の算出においては、次の⑴から⑷までに掲げる事項について勘案するものとする。

⑴　次に掲げる運転時間等については、室用途ごとに定められる標準的な室の使用条件を用いること。

ⅰ　空気調和設備の運転時間及び温度設定

ⅱ　居住者の在室時間及び在室人数並びに発熱量及び発湿量

ⅲ　照明設備、ＯＡ機器等の使用時間及び発熱量

ⅳ　外気の取入時間及び取入量

⑵　気象条件については、別表第４に掲げる地域区分ごとに定められる気象情報を用いること。